

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

「治山の森」田上山一丈野国有林②(初冬の森の自然観察、森の恵み体験)

滋賀地区地区委員・佐々木建雄、プログラム担当者・下川茂

【事業のポイント】

- 紅葉から冬支度する「たまみずきの道」の自然観察
- ネイチャーゲーム「秋の色合わせ」(オリジナルカード)
- 自然の素材を生かしたクラフト制作
- 治水のシンボル「オランダ堰堤」(デ・レーケの遺徳)
- 今も続く田上山復旧への取り組み(卒業記念植樹)



1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして主体的に目標達成に向かって活動できるように企画され、地域を担う人材の育成につながる、全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む。

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

FIJ関西支部 - 滋賀地区指導者グループ - 「治山の森」田上山②指導者チーム

(2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
12月13日	一丈野自然休養林	子供12名 大人7名	日帰り	別途	自然観察・ネイチャークラフト体験・復旧の歴史を学ぶ(講話/現地説明)
/					

(3) 具体的な取組の概要



ネイチャーゲーム「森の色合わせ」



キノコの解説(たまみずきの道)

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

初冬の森の散策道を歩きながら、そこに生育する主な植物の解説に加えて、子どもたち自らが自然界の様々な色を探すネイチャーゲーム「森の色合わせ」を実施した。この活動や午後からのネイチャークラフト制作の中では、子どもたちが興味深く、楽しそうに取り組む姿が伺えた。ただ、開催時期が12月中旬を迎えて多くの落葉樹は葉を落とし観察できないものもあった。また季節的に暖房のない屋内での制作活動はやや厳しいものがあり、適切な時期における事業の開催の必要性を感じた。ただ今回もまた、過半数以上が前回までのリピーターであり、事業企画(プログラム)が支持されていると判断できる。

4. 団体プロフィール

※団体概要や連絡先を記載してください。
施設の写真等の掲載も可能です。

写真
※キャプションも